

Sharpdesk Mobile® V2.2 操作マニュアル

Windows 版

シャープ株式会社

目次

1	概要	4
2	使用上の注意	5
3	インストールと起動	6
4	プリンター/スキャナーの設定	7
4.1	プリンター/スキャナーを登録する	7
4.1.1	検索して自動登録する	7
4.1.2	手動で登録する	8
4.2	プリンター/スキャナーの情報を表示、編集する	10
4.3	プリンター/スキャナーの一覧を操作する	11
4.3.1	プリンター/スキャナーの並び順を変更する	12
4.3.2	プリンター/スキャナーを削除する	12
5	ユーザー情報の設定	13
6	アプリケーションの動作設定	15
7	ユーザー設定	17
8	取り込む	19
8.1	端末からスキャナー操作を行う	20
8.2	スキャナーの操作パネルから操作を行う	25
9	印刷する	27
9.1	本アプリケーションに保存されているデータを印刷する	27
9.1.1	暗号化 PDF ファイルを印刷する	31
9.2	写真を印刷する	33
9.3	Web ページを印刷する	34
9.4	メールを印刷する	35
9.5	その他のフォルダーのデータを印刷する	37
10	メールに添付する	38
11	アプリケーションに送る	39
12	ファイルを管理する	41
12.1	ファイル/フォルダーの一覧を操作する	42
12.2	ファイル/フォルダーを検索する	43
12.3	ファイルをプレビューする	44
12.4	ファイル/フォルダーの名前を変更する	45
12.5	ファイル/フォルダーを移動する	47

12.6	ファイル/フォルダーを削除する.....	48
12.7	フォルダーを作成する.....	49
13	他のアプリケーションから印刷する.....	51

1 概要

本製品は、

- お使いのデジタル複合機でスキャンした文書をモバイル端末(以降「端末」と表記)で受信(取り込み)、プレビュー、保存
- 端末に保存した文書データや写真、受信したメール、閲覧した Web ページをデジタル複合機で印刷
- デジタル複合機から取り込んだデータをメールに添付して送信、他のアプリケーションと連携して活用できるアプリケーションです。



2 使用上の注意

- 画面デザイン等は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- 本アプリケーションの動作環境について、最新情報は、下記の弊社 Web サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/business/print/solution/mobile/sharpdesk_m.html
- お使いの端末は無線ネットワークに接続されている必要があります。
- 本アプリケーションは、以下のファイルフォーマットをサポートしています。
 - JPEG、TIFF、PNG、PDF(高圧縮 PDF、暗号化 PDF も含む)、Office Open XML ファイル(以降「OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)」と表記)
(注) OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)の印刷は対応機種に限られます。
 - 本アプリケーションで扱うことができるファイルのファイル名の最大文字数は 150 文字です。
 - 一部のファイルフォーマットにおいて、プレビューやサムネイル表示ができない場合があります。

フォーマット	表示可否
暗号化 PDF	△
暗号化されていない PDF	○
TIFF	○
JPEG	○
PNG	○
OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)	×

○…プレビュー、サムネイルとも表示可。プレビューの回転可。

×…プレビュー、サムネイルとも表示不可。

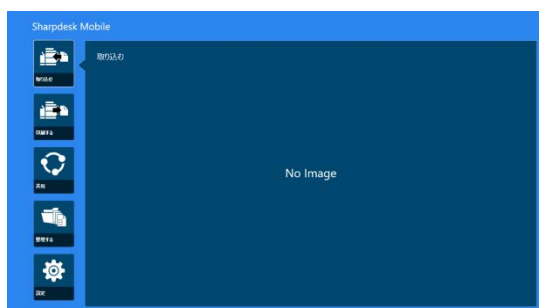
△…サムネイルは表示不可。

- 本書では、Windows 8.1 Pro を搭載した端末の横長の画面での操作について説明しています。
- SD カードを端末から取り外す場合は、必ず SD カードを安全に取り外せる状態に操作した後に取り外してください。本操作を行わずに取り外した場合、データの破損等の恐れがあります。
- 本アプリケーションは、デジタル複合機の検索、デジタル複合機からのスキャンデータの受信、デジタル複合機への印刷に、SNMP、FTP、HTTP、Raw を使用しています。

3 インストールと起動

お使いの端末に、本アプリケーションをインストールし、起動します。

- ① Windows ストアからインストールします。アプリケーションのカテゴリ名は「仕事効率化」、キーワードは「Sharpdesk Mobile」と指定することにより検索できます。
- ② インストール後、本アプリケーションを起動します。
スプラッシュ画面が表示された後、初回起動時のみソフトウェア使用許諾が表示されますので、同意される場合は、「同意する」ボタンを押してください。
(注) 同意されない場合は、本アプリケーションを使用できません。
(注) 一度「同意する」ボタンを押した後は、本アプリケーション起動時にソフトウェア使用許諾は表示されません。
- ③ TOP メニュー画面が表示されます。

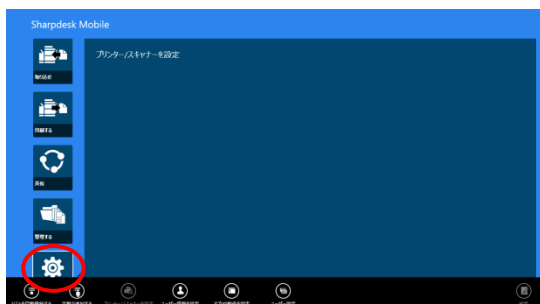


(注) アプリケーションを起動した際、初回起動時には、プリンター/スキャナーの検索、および登録を促すダイアログが表示されます。初回起動時以外で、利用できるスキャナーの登録がない場合には、「取り込む」または「印刷する」をタップした場合のみ上記ダイアログが表示されます。

4 プリンター/スキャナーの設定

本アプリケーションから印刷を行うためのプリンター、および本アプリケーションにスキャンデータを取り込むためのスキャナーを設定します。

TOP メニュー画面から「設定」をタップすると、「プリンター/スキャナーを設定」が表示され、画面下部にアプリバーが表示されます。



4.1 プリンター/スキャナーを登録する

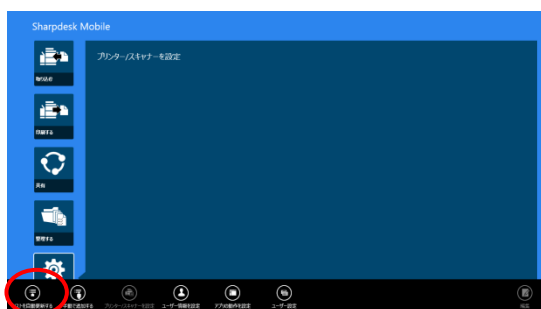
本アプリケーションから印刷を行ったり、本アプリケーションにスキャンデータを取り込んだりするためには、プリンター/スキャナーを登録する必要があります。

ローカルネットワークに接続されているプリンター/スキャナーを登録するには、検索を行い自動登録します。

ローカルネットワークに接続されていないプリンター/スキャナー、もしくは検索により自動登録できなかったプリンター/スキャナーは、手動で登録します。

4.1.1 検索して自動登録する

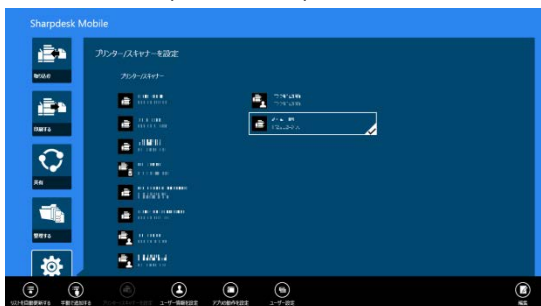
- ① 「リストを自動で更新する」をタップします。ネットワーク上のプリンター/スキャナーが自動的に検索されます。



(注) 自動的に検索されるのは、お使いの端末が接続されているネットワークの同じセグメント上に限られます。お使いの端末と異なるセグメントにあるプリンター/スキャナーをお使いの際は、「手動で登録する」(次節参照)で追加してください。

- ② 検索されたプリンター/スキャナーが一覧表示されます。

プリンター/スキャナーから取得した「製品名」と「設置場所」もしくは「IP アドレス」を、「製品名(設置場所)」もしくは「製品名(IP アドレス)」の形式で上部に表示し、IP アドレスを下部に表示します。

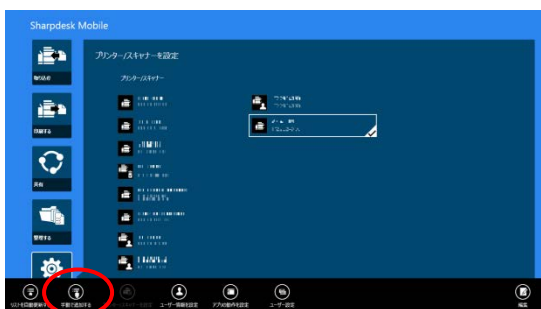


(注) 「製品名(設置場所)」もしくは「製品名(IP アドレス)」のどちらを表示させるかについては、「アプリケーションの動作設定」(6章参照)で設定できます。

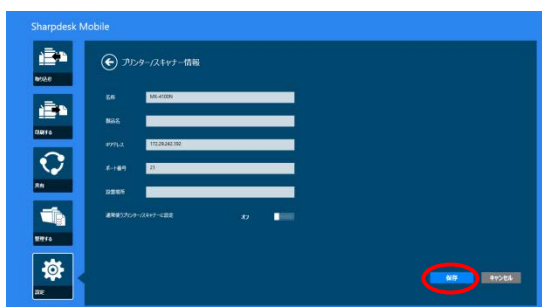
(注) プリンター/スキャナーから取得した「製品名」に含まれる「SHARP」は表示されません。

4.1.2 手動で登録する

- ① 「手動で追加する」をタップします。



- ② 登録したいプリンター/スキャナーに関する以下の項目が設定できます。
設定が完了したら、「保存」をタップして設定を保存します。

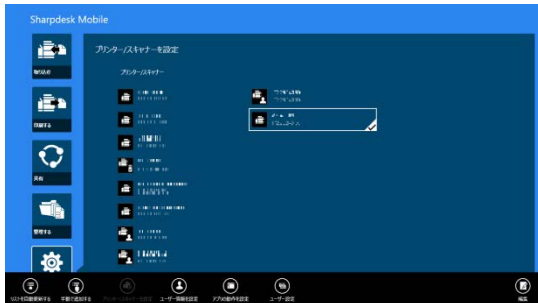



項目	説明	
名称	<p>プリンター/スキャナーの名称を入力します。</p> <p>(注) 名称を入力しない場合は、IP アドレスが名称として設定されます。項目「IP アドレス」で入力されたアドレスが接続可能であれば、プリンター/スキャナーに設定された「製品名」「設置場所」を取得し、「アプリケーションの動作設定」の「名称設定方法」に従って名称が設定されます。</p>	
製品名	<p>登録するプリンター/スキャナーの製品名を入力します。</p> <p>(注) 製品名を入力しない場合は、項目「IP アドレス」で入力されたアドレスが接続可能であれば、プリンター/スキャナーに設定された「製品名」の取得を試みます。</p>	
IP アドレス	<p>プリンター/スキャナーの IP アドレスを入力します。この項目は、必ず入力する必要があります。</p> <p>(注) すでに手動で登録されている IP アドレスは入力できません。</p>	
ポート番号	<p>プリンター/スキャナーのポート番号を入力します。必ず入力する必要があります。</p> <p>ポート番号はプリンターに印刷する際に必要となります。プリンターに設定されているポート番号と同じものを用いてください。同じポート番号を設定しない場合は、印刷できません。</p> <p>プリンター側のポート番号は、以下に示すプリンターの Web ページで確認できます。</p>	
	本アプリケーションの「アプリケーションの動作設定」で「印刷に Raw プリントを使用する」が「オフ」の場合	<p>[アプリケーション設定]>[PC からのプリント設定]で設定されたポート番号です。</p> <p>初期値は 21 です。</p>
	本アプリケーションの「アプリケーションの動作設定」で「印刷に Raw プリントを使用する」が「オン」の場合	<p>[ネットワーク設定]>[プリントポート設定]>[RAW]タブで設定されたポート番号です。</p> <p>初期値は 9100 です。</p>
設置場所	<p>登録するプリンター/スキャナーの設置場所を入力します。</p> <p>(注) 設置場所を入力しない場合は、項目「IP アドレス」で入力されたアドレスが接続可能であれば、プリンター/スキャナーに設定された「設置場所」の取得を試みます。</p>	
通常使うプリンター/スキャナーに設定	<p>「オン」にすると、「取り込む」および「印刷する」機能使用時に、初期値としてこのスキャナー/プリンターが選択されている状態となります。</p> <p>(注) アプリケーションの動作設定(6 章参照)で、「プリンター/スキャナー自動選択」が「オン」の場合は設定できません。</p>	


4.2 プリンター/スキャナーの情報を表示、編集する



本アプリケーションに登録されたプリンター/スキャナーの情報を表示し、編集することができます。

TOPメニュー画面から「設定」をタップすると、登録されたプリンター/スキャナーが一覧表示されます。

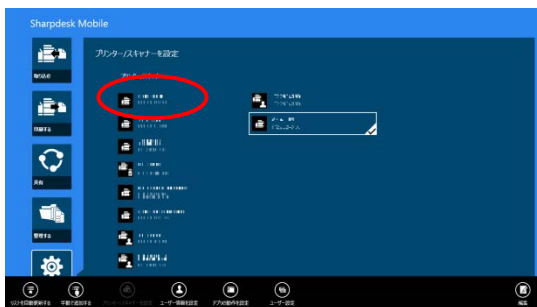


自動更新で登録されたプリンター/スキャナーは、 アイコンが先頭に表示されます。

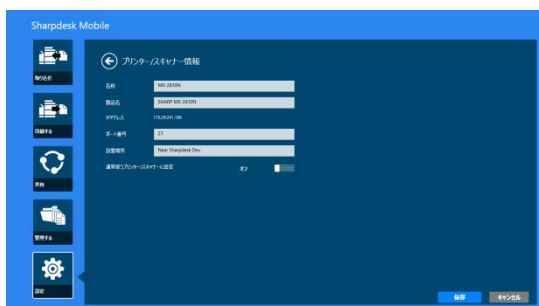
手動で追加されたプリンター/スキャナーは、 アイコンが先頭に表示されます。

端末からのスキャナー操作機能(8.1 節参照)に対応したスキャナーは、 または  アイコンが先頭に表示されます。

- ① 情報を表示したいプリンター/スキャナー名をタップします。

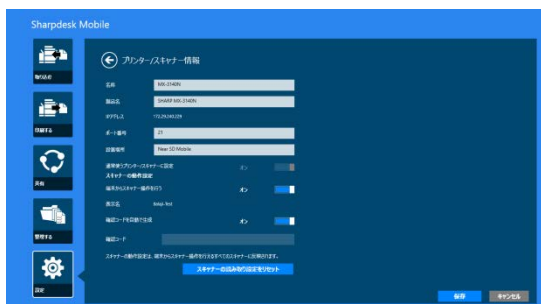


- ② 選択されたプリンター/スキャナーの情報が表示され、編集が可能となります。項目は、前節の「手動で登録する」をご参照ください。



(注) 自動更新で登録されたプリンター/スキャナーについては、IP アドレスは編集できません。

端末からのスキャナー操作機能に対応したスキャナーを選択した場合は、スキャナーの情報は以下のように表示されます。



「スキャナーの動作設定」では、以下の項目の設定を編集できます。

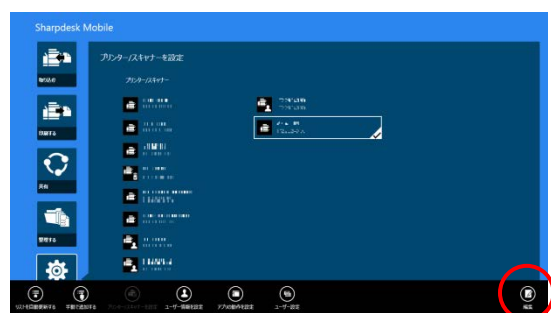
「保存」をタップして、設定を保存します。

項目	説明
端末からスキャナー操作を行う	「オン」にすると、「取り込む」機能を使用する際に、本アプリケーションでスキャン操作を行います(8.1 節参照)。
表示名	スキャナーが原稿セット待ち状態になった際に、そのスキャナーと接続している端末を確認するために、確認コードと合わせてスキャナーと端末の双方に表示されます。
確認コードを自動で生成	「オン」にすると、確認コードを本アプリケーションが自動で生成します。 「オフ」にした場合、「確認コード」に確認コードを入力してください。
確認コード	スキャナーが原稿セット待ち状態になった際に、そのスキャナーと接続している端末を確認するために、表示名と合わせてスキャナーと端末の双方に表示されます。
スキャナーの読み取り設定をリセット	タップすると、「取り込む」機能を使用する際に設定したスキャン設定の値を初期値に戻します。

4.3 プリンター/スキャナーの一覧を操作する

本アプリケーションに登録されたプリンター/スキャナーの一覧から、プリンター/スキャナーの並び順を変更したり、削除したりすることができます。

プリンター/スキャナーの一覧を操作するには、一覧表示画面から「編集」をタップします。

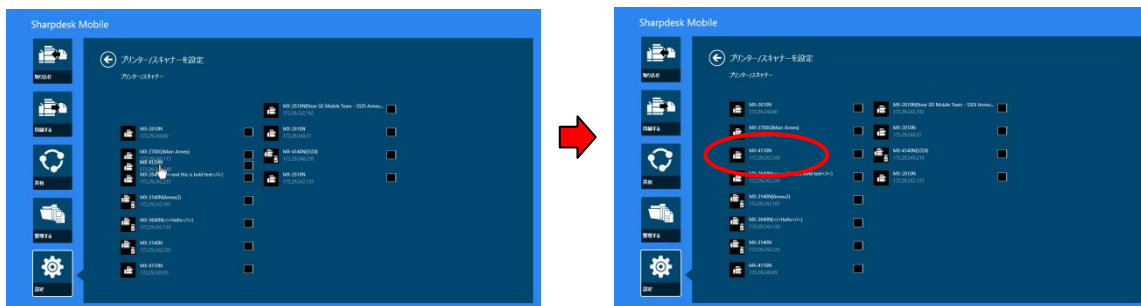


4.3.1 プリンター/スキャナーの並び順を変更する

並び順を入れ替えたいプリンター/スキャナーを長押しします。

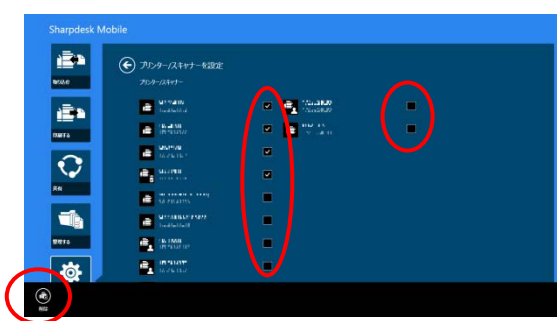


長押しすると、そのプリンター/スキャナーが移動可能になりますので、指を触れたまま上下に移動し順番を変更します。



4.3.2 プリンター/スキャナーを削除する

削除したいプリンター/スキャナーのチェックボックスをタップします(複数のプリンター/スキャナーの選択が可能です)。「削除」ボタンをタップすると、削除を確認するダイアログが表示されますので、「削除」をタップします。

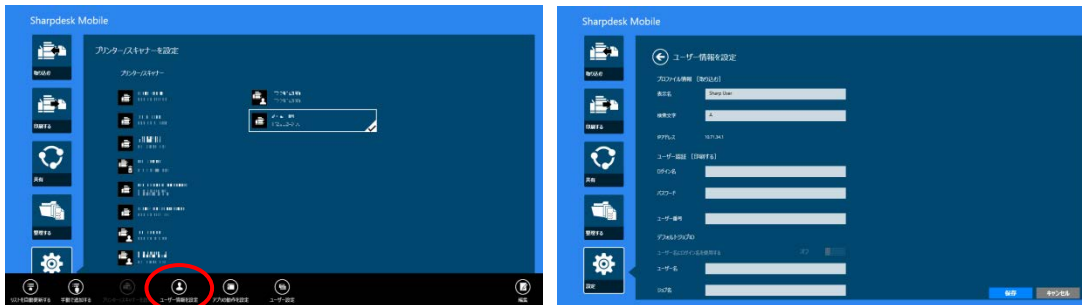


削除したプリンター/スキャナーは、「リストを自動で更新する」または「手動で追加する」(4.1 節参照)で再度追加することができます。

5 ユーザー情報の設定

本アプリケーションをお使いになるユーザーに関する設定を行うための情報を登録します。

ユーザー情報の設定を行うには、TOP メニュー画面から「設定」をタップし、「ユーザー情報を設定」をタップします。



以下の項目が設定可能です。

設定が完了したら「保存」をタップして設定を保存します。

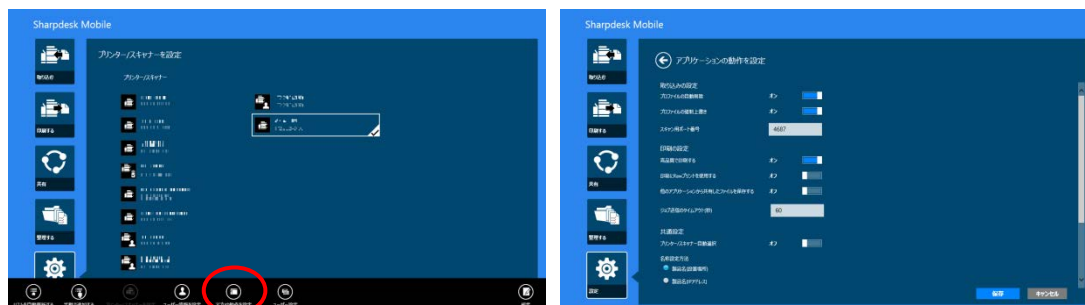
プロファイル情報: 「取り込む」(7章参照)操作においてスキャナーに宛先を登録するための情報を設定します。	
項目	説明
表示名	スキャナー側でアドレス帳一覧に表示される表示名を設定します。初期値は、端末本体のコンピューター名です。
検索文字	スキャナーの宛先表示の際にソートキーとして使用されます。
ユーザー認証: ユーザー認証を行っているプリンターを使用して印刷する際に必要な情報を設定します。	
項目	説明
認証にログイン名を使用する	プリンターのユーザー認証にログイン名を使用している場合はこちらを選択します。以下の「ログイン名」と「パスワード」を設定します。
ログイン名	プリンター本体のユーザー認証用ログイン名を設定します。
パスワード	プリンター本体のユーザー認証用パスワードを設定します。
認証にユーザー番号を使用する	プリンターのユーザー認証にユーザー番号を使用している場合はこちらを選択します。以下の「ユーザー番号」を設定します。
ユーザー番号	プリンター本体のユーザー認証用に、ご自分に割り当てられているユーザー番号を設定します。

デフォルトジョブ ID: この項目を設定すると、プリンターの操作パネル上で表示する[ユーザー名]および[ジョブ名]に関して、このタブで設定した値をそのまま使用します。	
項目	説明
ユーザー名にログイン名を使用する	「オン」にすると、プリンター本体の操作パネル上で表示される[ユーザー名]が「ユーザー認証」設定(上記)の「ログイン名」に固定されます。
ユーザー名	プリンター本体の操作パネル上で表示される[ユーザー名]の初期値を設定します。 設定しない場合には、"SharpdeskM User"を使用します。 (注) 「ユーザー名にログイン名を使用する」を「オン」にした場合、ユーザー名は入力できません。
ジョブ名	プリンター本体の操作パネル上で表示される[ジョブ名]の初期値を設定します。 設定しない場合には、印刷されるファイルのファイル名を使用します。

6 アプリケーションの動作設定

本アプリケーションの動作を設定します。

アプリケーションの動作設定を行うには、TOP メニュー画面から「設定」をタップし、「アプリの動作を設定」をタップします。



以下の項目が設定可能です。

「保存」をタップして設定を保存します。

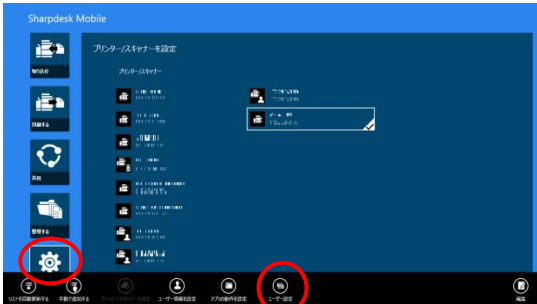
取り込みの設定:	
項目	説明
プロファイルの自動削除	スキャン後に、スキャナー側に宛先を残したくない場合は、「オン」にしてください。
プロファイルの強制上書き	「オン」にすると、スキャンを行う際に、スキャナー側に前回登録した宛先が残っている場合、上書きを行うか否かを確認せずに宛先を上書きします。
スキャン用ポート番号	「取り込む」機能でスキャナーからスキャンデータを取り込む場合に使用するポートを指定します。初期値は 4687 です。お使いの端末で他のアプリケーションが同じポートを使用している場合は変更する必要があります。
印刷の設定:	
項目	説明
高品質で印刷する	「オン」にすると、印刷する際、品質を重視して印刷します。
印刷に Raw プリントを使用する	「オン」にすると、印刷に FTP ポート(21 番ポート)を使用せず、Raw ポート(9100 番ポート)を使用します。
他のアプリケーションから共有したファイルを保存する	「オン」にすると、本アプリケーションで印刷するために他アプリケーションから受けたファイルを、本体のストレージに保存します。
ジョブ送信のタイムアウト(秒)	印刷ジョブをプリンターに送信する際のタイムアウト時間を設定します。60 秒から最長 300 秒まで設定できます。初期値は 60 秒です。

共通設定:	
項目	説明
プリンター/スキャナー自動選択	「オン」にすると、接続する無線ネットワーク(SSID)に応じて、初期値として選択されるプリンター/スキャナーが自動的に切り替わります。
名称設定方法	プリンター/スキャナーの一覧に表示される名称を設定します。「製品名(設置場所)」もしくは「製品名(IP アドレス)」が設定できます。
SNMP 設定: お使いのネットワークの SNMP Get コミュニティの設定に関しては、管理者にお尋ねください。	
項目	説明
public で検索する	SNMP Get コミュニティを初期値から変更しているネットワークでご使用になる場合、「オフ」にしてください。
Community String	「public で検索する」が「オフ」の場合、ネットワークでご使用になっている値を設定してください。最大 10 件まで登録できます。

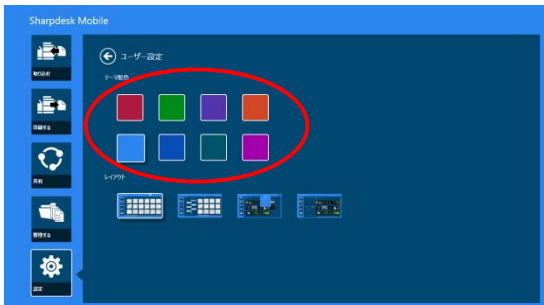
7 ユーザー設定

本アプリケーションの画面の色やユーザーインターフェースに関する設定を行うことができます。

TOP メニュー画面から「設定」をタップし、「ユーザー設定」をタップします。



「テーマ配色」では、本アプリケーションの画面の配色について設定します。



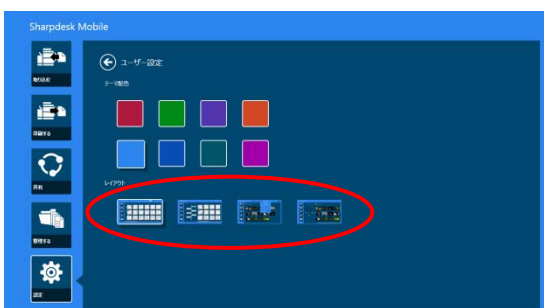
「レイアウト」では、ファイルやフォルダーの一覧画面の表示方法について設定します。

「標準ビュー」(いちばん左のアイコンをタップします)に設定すると、一覧画面の上部にタイムラインやファイルタイプフィルターが表示されます。

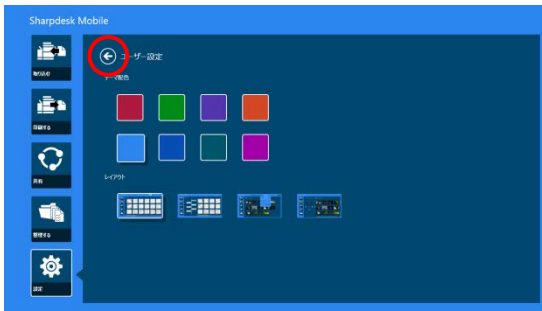
「ツリービュー」(左から 2 番目のアイコンをタップします)に設定すると、一覧画面の左側にタイムラインやファイルタイプフィルターが表示されます。

「カレンダービュー」(左から 3 番目のアイコンをタップします)に設定すると、一覧画面の上部にカレンダー、タイムラインバーが表示されます。

「サークルビュー」(いちばん右のアイコンをタップします)に設定すると、一覧画面の左側にカレンダーのタイムラインが表示されます。



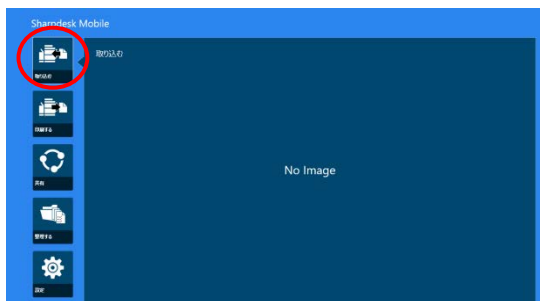
これらの設定は自動的に保存されます。矢印をタップすると前の画面に戻ります。



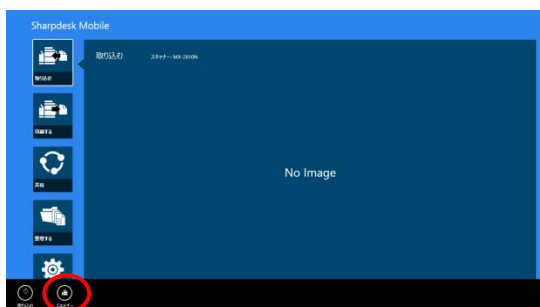
8 取り込む

指定のスキャナーで文書(原稿)をスキャンし、本アプリケーションに取り込みます。

本操作を行うには、TOP メニュー画面から「取り込む」をタップします。



「スキャナー」ボタンをタップすることにより、原稿のスキャンに用いるスキャナーを変更できます。



プリンター/スキャナーの一覧(4.1.1 節ステップ0 参照)で、長方形でハイライト表示されているスキャナーが初期値として選択されています。

以降の操作は、選択したスキャナーによって異なります。

端末からのスキャナー操作機能に対応したスキャナーを選択した場合は 8.1 節を、それ以外のスキャナーを選択した場合は 8.2 節をご参照ください。

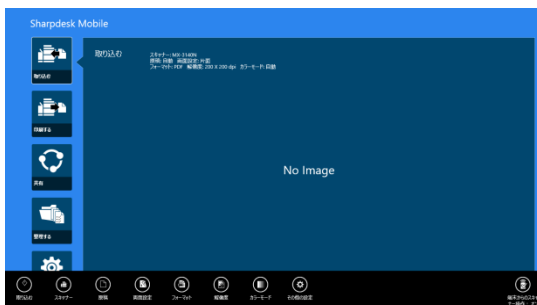
8.1 端末からスキャナー操作を行う

端末からのスキャナー操作機能に対応したスキャナーを選択した場合は、本節の操作方法で原稿を取り込むことができます。対応スキャナーについては、弊社 Web サイト(URL は 2 章に記載)をご覧ください。

取り込む原稿をスキャナー側でセットする以外は、すべて本アプリケーション側で操作を行います。

(注) 本操作を行う前に、スキャナーの操作パネルにホーム画面が表示されている(もしくは、ユーザー認証画面になっている)ことを確認してください。スキャナーにおいて外部アプリケーション設定が有効となっている場合、もしくはユーザー認証前の本機能の使用が禁止されている場合は、ユーザー認証を行った後、ホーム画面を表示してください。上記以外の画面が表示されている場合は、本操作ができません。

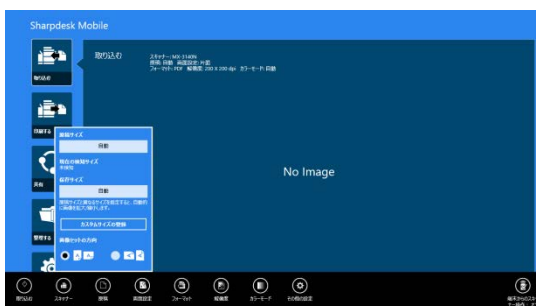
- ① 端末からのスキャナー操作機能に対応したスキャナーを選択した場合、現在のスキャン設定状態と、設定メニューが表示されます。



(注) 設定メニューの「端末からスキャナー操作を行う」を「オフ」にした場合、スキャナー側で操作を行う従来の方法で原稿を取り込むことができます。以降の操作方法については、8.2 節をご参照ください。

以下の項目が設定可能です。

各項目は自動的に設定を保存します。



項目	サブ項目	説明
カラーモード		原稿の色の読み取り方法(自動/フルカラー/グレースケール/白黒 2 値)を設定します。初期値は「自動」です。 (注)「原稿」の「原稿サイズ」で「長尺」を指定した場合は、「白黒 2 値」以外の設定はできません。
原稿	原稿サイズ	初期値は「自動」に設定されていますが、定型サイズ以外の原稿(インチ系のサイズや不定型サイズの原稿)をセットしたときや、原稿サイズが正しく検知されなかったときに手動で指定します。
	現在の検知サイズ(表示のみ)	お使いのスキヤナーに原稿をセットすると、そのサイズが自動検知され、表示されます。
	保存サイズ	スキヤナーがお使いの端末に送信する(お使いの端末に保存する)スキャンデータのサイズを設定します。「原稿サイズ」と異なるサイズを指定すると、自動的に画像を拡大/縮小して送信します。初期値は「自動」です。 (注)「原稿サイズ」において、長尺/はがき/名刺/L 判/2L 判/カード/カスタムサイズのいずれかを選択した場合、「自動」以外の選択はできません。
	カスタムサイズの登録	定型サイズ以外のサイズの原稿をスキャンする際に、名前を付けてあらかじめサイズを登録しておくことができます。最大 5 種類のカスタムサイズが登録できます。
	画像セットの方向	セットした原稿の画像と同じ向きを選択します。原稿の向きと同じ、または原稿を 90 度回転のどちらかを選択できます。初期値は原稿の向きと同じです。
両面設定		スキャンする原稿の片面/両面の読み込み方法に関する設定を行います。 片面、両面原稿 よことし、両面原稿 たてとじが選択できます。初期値は「片面」です。
フォーマット	カラー	読み込み時のフォーマットモード(カラー/グレースケール、または白黒)を選択します。
	フォーマット	スキャンを行う際のファイル形式を選択します。 「カラー」で「カラー/グレースケール」を選択した場合は、PDF/A-1b* ¹ 、PDF、TIFF、JPEG が選択できます。 「白黒」を選択した場合は、PDF/A-1b* ¹ 、PDF、TIFF のみ選択できます。
	高圧縮 PDF のタイプ	「カラー」で「カラー/グレースケール」を選択し、「ファイル形式」で「PDF/A-1b」* ² または「PDF」を選択した場合のみ設定が可能です。 スキャンを行う際の高圧縮 PDF のタイプ(高圧縮 オン/オフ、高精細 オン/オフ)を選択します。 (注) スキヤナーにスキヤナー機能拡張キットを装着している場合のみ設定が可能です。

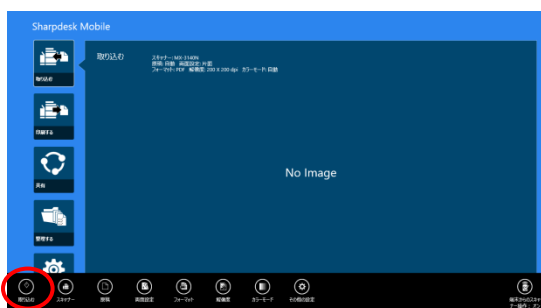
項目	サブ項目	説明
	圧縮率	「カラー」で「カラー/グレースケール」を選択した場合のみ設定が可能です。 スキャンを行う際の画像の圧縮率(低圧縮/中圧縮/高圧縮)を選択します。「ファイル形式」で「PDF/A-1b」* ² または「PDF」を選択した場合、黒文字重視でのスキャンが可能なスキャナーでは黒文字重視も選択可能です。
	圧縮形式	「カラー」で「白黒」を選択した場合のみ設定が可能です。 白黒 2 値画像でスキャンを行う際の圧縮形式(圧縮なし/MH(G3)/MMR(G4))を選択します。
	ページ毎にファイル化	「ファイル形式」で「PDF/A-1b」* ² 、「PDF」または「TIFF」を選択した場合のみ設定が可能です。 チェックボックスをチェックすると、「ページ数」で設定したページ数毎に 1 つのファイルとしてスキャンを行います。
	暗号化	「ファイル形式」で「PDF」を選択した場合のみ設定が可能です。 チェックボックスをチェックすると、暗号化 PDF としてスキャンを行います。「パスワード」に、暗号化 PDF を閲覧するためのパスワードを設定してください。
	OCR(文字認識)	OCR(文字認識)…オン/オフの設定があり、オンの場合には、さらに「言語設定」「フォント」「原稿向き検知」「ファイル名抽出」の設定が可能となります。 言語設定…OCR 時の言語を設定します。 フォント…出力フォントを設定します。 画像の向き検知…原稿の向きの検知を行うかどうかを設定します。 ファイル名抽出…ファイル名抽出を行うかどうかを設定します。 (注) OCR に対応したスキャナーについては Web サイト (http://www.sharp.co.jp/business/print/solution/mobile/sharpdesk_m.html) を参照ください。
解像度		スキャンを行う際の解像度について設定します。以下の解像度が設定可能です。 100x100dpi, 150x150dpi, 200x200dpi, 300x300dpi, 400x400dpi, 600x600dpi (注) 150x150dpi でのスキャンに対応していないスキャナーでは、150x150dpi は選択できません。 (注) 「フォーマット」において「高圧縮 PDF のタイプ」に「高圧縮」または「高圧縮高精細」を設定した場合は、300x300dpi 以外の設定はできません。

項目	サブ項目	説明
その他	濃度	スキャンを行う際の濃度(自動、文字、文字/印刷写真、印刷写真、文字/印画紙写真、印画紙写真、地図)を選択します。
	濃度レベル	スキャンを行う際の濃度レベル(1~5)を選択します。「濃度」が「自動」の場合は設定できません。
	白紙飛ばし	スキャンを行う際に、原稿に白紙や裏写りページが混在している場合、スキャナーはそれらを自動的に判別し、それらのページを省いてデータを作成します。「Off」「白紙を飛ばす」「白紙と裏写り原稿を飛ばす」が選択できます。

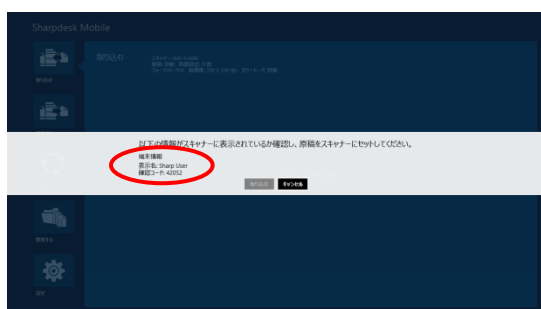
*1 一部機種については、PDF/A-1a、PDF/A-1b となります。

*2 一部機種については、PDF/A-1a、PDF/A-1b を選択した場合も設定が可能です。

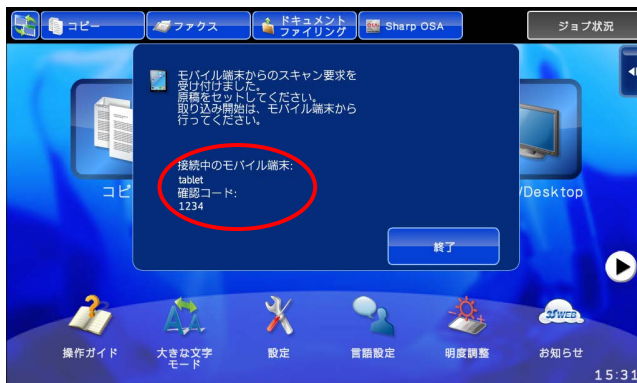
② 設定が完了したら、「取り込む」をタップします。



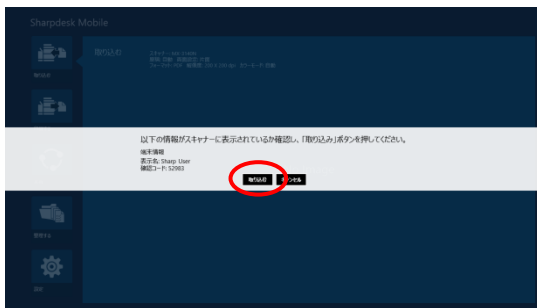
③ 下の画面のように端末情報(「表示名」と「確認コード」)を記載したダイアログが表示され、端末はスキャナーの原稿セット待ち状態になります。



- ④ スキャナーの操作パネルに接続端末情報が表示されますので内容を確認し、原稿をセットします。



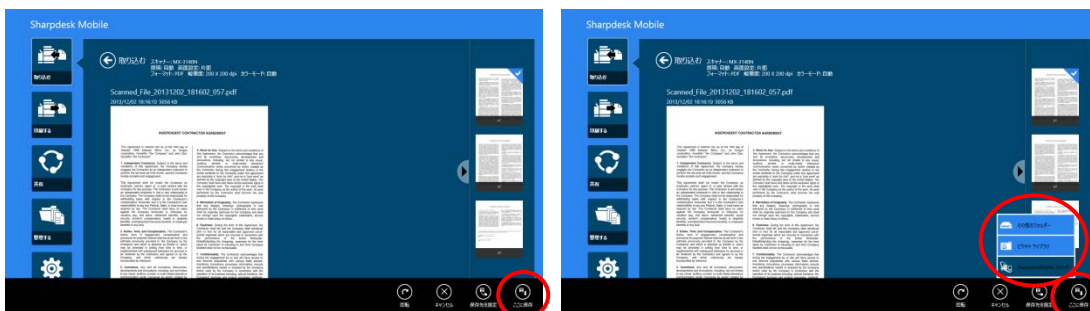
- ⑤ 本アプリケーションから「取り込み」をタップします。



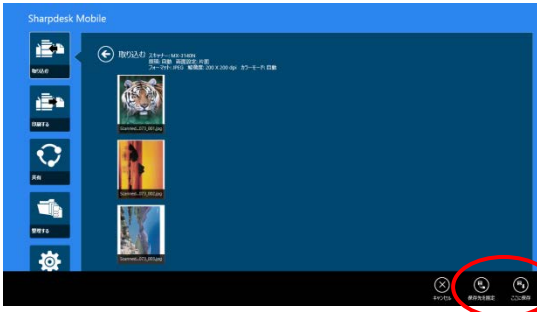
- ⑥ スキャナーは原稿読み込みを開始し、スキャンデータが端末に送信されます。本アプリケーションは受信したデータを取り込みます。

受信したデータが 1 つだけの場合は、そのデータのプレビューが表示されます。プレビュー画像の操作については 12.3 節をご参照ください。

- ⑦ SharpdeskMobile フォルダの直下にデータを保存するには、アプリバーの「ここに保存」をタップします。他に保存するフォルダーを選択するには、「保存先を指定」をタップし、保存したいフォルダーに移動した後、「ここに保存」をタップします。



受信したデータが複数あった場合は、受信したデータの一覧が表示されます。「ここに保存」、または「保存先を指定」をタップし、以降は上記のステップ⑦の操作により、それらのデータをファイルとして選択したフォルダーに保存します。



(注) 受信したデータの一覧から、内容を確認したいデータをタップして、そのプレビューを表示することができますが、そのデータだけを保存することはできません。

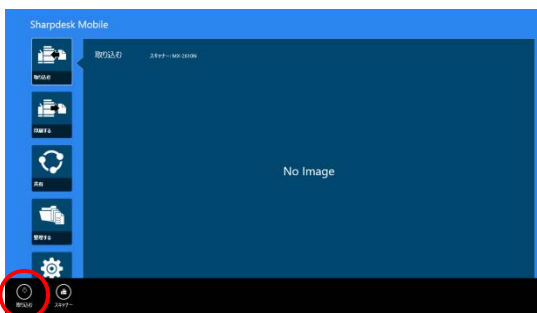
8.2 スキャナーの操作パネルから操作を行う

端末からのスキャナー操作機能に非対応のスキャナーを選択した場合は、本節の操作方法で原稿を取り込みます。

取り込むファイルの解像度やファイルフォーマット、カラーモード等の設定はスキャナーの操作パネルで行います(本節ステップ③をご参照ください)。

(注) 本操作を行う前に、スキャナーの操作パネルにアドレス帳が表示されていないことを確認してください。スキャナーの操作パネルにアドレス帳を表示している場合は、本操作ができないことがあります。

① 「取り込む」をタップします。



- ② 「取り込みを行います。」ダイアログが表示されますので「OK」ボタンをタップすると下の画面のようにダイアログが表示された後、端末は取り込み待ち状態になります。



- ③ スキャナーに原稿をセットし、「ファクス/イメージ送信(FTP/Desktop)」を選択して、解像度やファイルフォーマット、カラーモード等の設定を行います。アドレス帳から、ステップ②のダイアログに表示された「表示名」と同じ宛先を選択し、スタートボタンを押してスキャンを実行します。

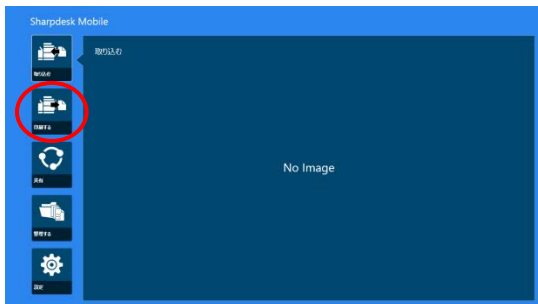


- ④ スキャンデータが端末に送信されます。以降の操作は、前節のステップ⑥以降をご参照ください。

9 印刷する

指定のプリンターで、本アプリケーションに保存されているデータや写真、本アプリケーションで共有した Web ページやメールを印刷します。

印刷を行うには、TOP メニュー画面から「印刷する」をタップします。



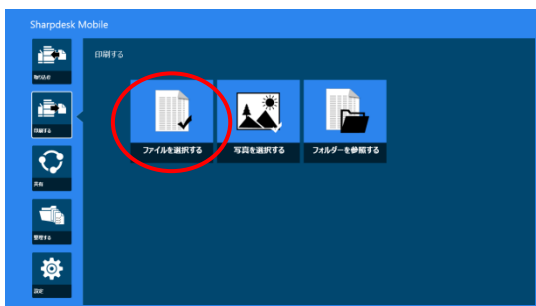
9.1 本アプリケーションに保存されているデータを印刷する

お使いの端末の、本アプリケーションが管理するデータ領域に保存されたデータを印刷します。

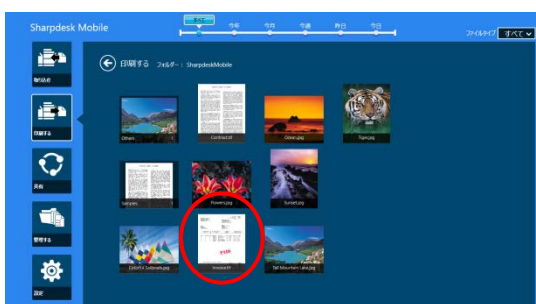
印刷可能なファイル形式は、JPEG、TIFF、PNG、PDF(高圧縮 PDF、および暗号化 PDF を含む)、および OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)です。

(注) DOCX、XLSX、PPTX の印刷可能なプリンターについては Web サイトを参照ください。

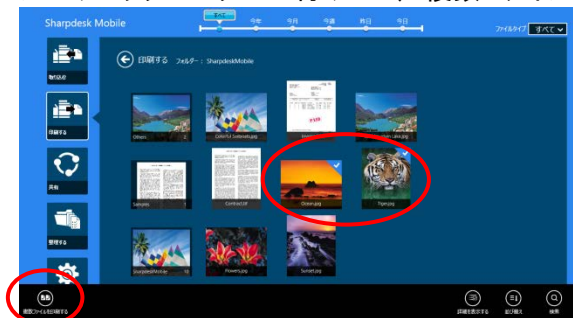
- ① 「ファイルを選択する」をタップします。



- ② SharpdeskMobile フォルダに保存されているファイルや保存フォルダーが一覧表示されます。ファイルやフォルダーの一覧の操作方法は 12.1 節を、検索方法は 12.2 節をご参照ください。印刷したいファイルをタップします。

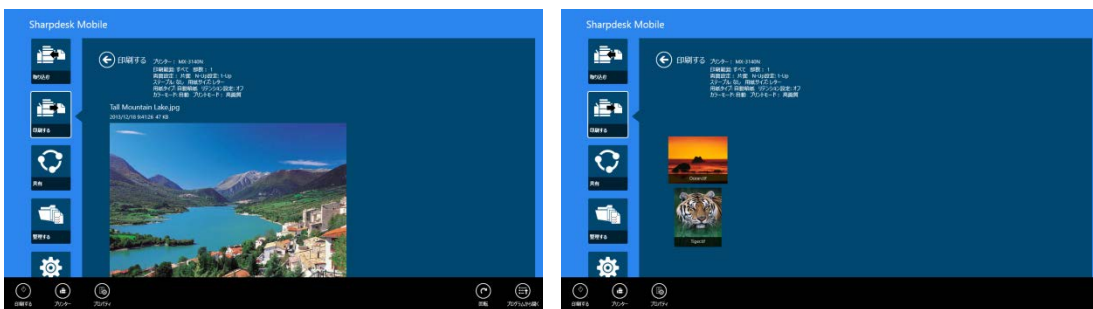


- 複数のファイルをまとめて印刷したい場合、印刷したいファイルを上下にスワイプすると選択したファイルにチェックマーク✓が付くので、「複数ファイルを印刷する」をタップします。



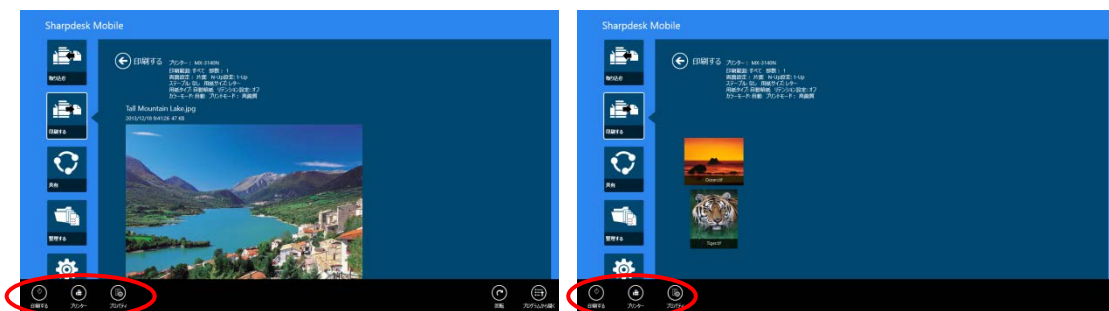
(注) 複数のファイルは選択した順に印刷されます。複数のファイルを印刷(ジョブ送信)中にエラーが発生した場合、エラーが発生する前までのファイルのみが印刷されます。

- ③ プレビュー画像の操作については 12.3 節をご参照ください。



(複数ファイルを選択した場合)

- ④ 印刷の設定を行います。



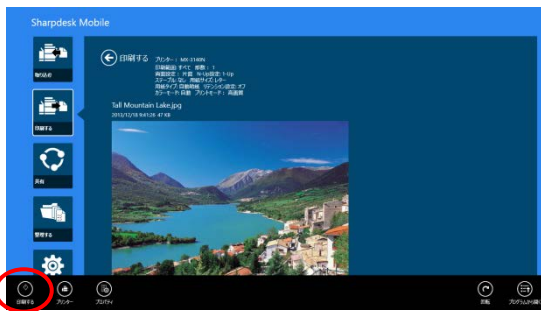
(複数ファイルを選択した場合)

以下の項目が設定可能です。

項目	説明
プリンター	印刷したいプリンターを選択します。 プリンター/スキャナーの一覧(4.1.1 節ステップ②参照)で、長方形でハイライト表示されている表示されているプリンターが初期値として選択されています。
プロパティ: 各印刷設定項目を設定します。	
項目	説明
メイン	
印刷範囲	印刷したいページの範囲を設定します。TIFF、シャープ製スキャナー(スキャンアクセサリキットを含む)でスキャンした PDF のみ指定可能です。 すべて: 全てのページを印刷します。 現在のページ: 現在プレビューしているページのみを印刷します。 ページ指定: 印刷したいページを直接指定します。カンマで区切って指定するか、ハイフンでページ範囲を指定します。混在も可能です。
印刷対象	OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)のうち、XLSX を印刷する場合に設定可能です。「選択されたシートのみ」、「ブック全体」のいずれかを選択して印刷します。
部数設定	印刷したい部数を設定します。1 部～99 部まで指定できます。
両面設定	両面/片面印刷を設定します。「片面印刷」、「両面印刷 よことじ」、「両面印刷 たてとじ」のいずれかを選択できます。 (注) JPEG、PNG については、両面/片面は指定できません。また、1 ページのファイルの場合は、PDF、TIFF についても指定できません。
ページ集約設定	印刷データを縮小して1ページ上に複数ページを割り付けて印刷することができます。シャープ製スキャナー(スキャンアクセサリキットを含む)でスキャンした PDF のみ指定可能です。 1-Up(1 ページを 1 ページに割り付け)、2-Up(2 ページを 1 ページに割り付け)、4-Up(4 ページを 1 ページに割り付け)のいずれかが選択できます。 2-Up または 4-Up を選択した場合、割り付けの順序についても設定可能です。2-Up の場合「左から右へ」「右から左へ」が選択できます。4-Up の場合「左上から右方向へ」「左上から下方向へ」「右上から左方向へ」「右上から下方向へ」が選択できます。
とじ位置	ステープルする場合、「左とじ」「右とじ」「上とじ」のいずれかを選択できます。 (注) ステープル機能が搭載されたフィニッシャーが装着されていないプリンターでは表示されません。
ステープル	ステープルする場合、「なし」「1 箇所とじ」「2 箇所とじ」のいずれかを選択できます。 (注) ステープル機能が搭載されたフィニッシャーが装着されていないプリンターでは表示されません。

項目	説明
用紙	
用紙サイズ	<p>印刷する用紙のサイズを設定します。下記のいずれかを選択できます。</p> <p>A3ワイド、A3、A4、A5、B4、B5、レジャー、レター、リーガル、エグゼクティブ、インボイス、フルスキャップ、8K、16K、DL、C5、COM10、モナーク、はがき、角形 2 号、長形 3 号、洋形 2 号、洋形 4 号</p> <p>(注) 「はがき」を設定した場合、プリンターは用紙タイプとして「はがき」を設定して印刷します。「DL」「C5」「COM10」「モナーク」「角形 2 号」「長形 3 号」「洋形 2 号」「洋形 4 号」を設定した場合、プリンターは用紙タイプとして「封筒」を設定して印刷します。それぞれの用紙をプリンターにセットしてください。それ以外の用紙をセットした場合は、正しく印刷されなかったり、紙詰まりを起こす場合があります。</p>
用紙タイプ	<p>印刷する用紙のタイプを設定します。下記のいずれかを選択できます。</p> <p>自動給紙、普通紙、レターヘッド付き用紙、印刷済み用紙、パンチ済み用紙、再生紙、色紙、ラベル紙、厚紙、OHP フィルム</p> <p>(注) 用紙サイズを「はがき」にした場合、自動的に「はがき」が設定されます。</p>
ジョブハンドリング	
リテンション設定	<p>印刷データをプリンター内蔵のハードディスクに保存し、必要ときにプリンターの操作パネルから印刷できます。「印刷せずにホールド」を「オン」にしてください。印刷データはプリンターの「標準フォルダー」に保存されます。</p> <p>また、「パスワードを指定」を「オン」にすると、パスワード(5～8 桁の数字による暗証番号)の指定により、保存されたデータの機密性を高めることができます。パスワード設定時、プリンターから保存されたデータを印刷するときはパスワードの入力が必要となります。</p> <p>(注) 暗号化 PDF については、プレビュー表示を行わない場合、リテンションは指定できません。9.1.1 節記載の手順により機密性の高い印刷が可能です。</p> <p>(注) 本項目を設定した場合は、プリントリリースの設定はできません。</p>
プリントリリース	<p>プリントリリースをサポートするプリンターを選択した場合のみ有効な設定です。</p> <p>(注) プリントリリースをサポートするプリンターについては Web サイトを参照ください。指定したプリンターで直接プリントするのではなく、プリントリリース機能を用いる場合に指定します。本項目を設定した場合は、リテンションの設定はできません。</p> <p>プリントリリース機能を用いた本体側の出力操作については、本体の操作マニュアルをご覧ください。</p>
カラー	
カラーモード	<p>印刷のカラーモードを設定します。「自動」、「カラー」、「グレースケール」のいずれかを選択できます。</p>

- ⑤ 「印刷する」をタップします。



「印刷を行います。」ダイアログが表示されますので、「OK」をタップすることにより、選択されたプリンターで印刷します。

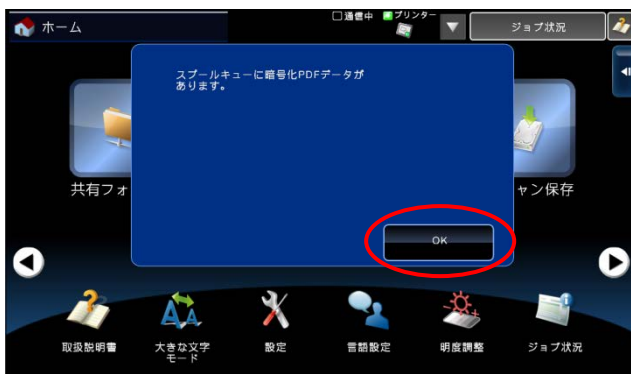
(注) 設定したプリンターに、選択したファイルを印刷するためのオプションが装着されていない場合はエラーが表示されますので、印刷したいプリンターを変更してください。

9.1.1 暗号化 PDF ファイルを印刷する

暗号化 PDF ファイルを印刷する場合は、プリンター側で以下の操作により出力します。

(注) 以下の操作は、MX-2610FN/MX-3110FN/MX-3610FN での印刷を想定しています。

- ① プリンターの操作パネルに、「スプールキューに暗号化 PDF データがあります。」と表示されますので、「OK」をタップします。



- ② 「ジョブ状況」をタップします。



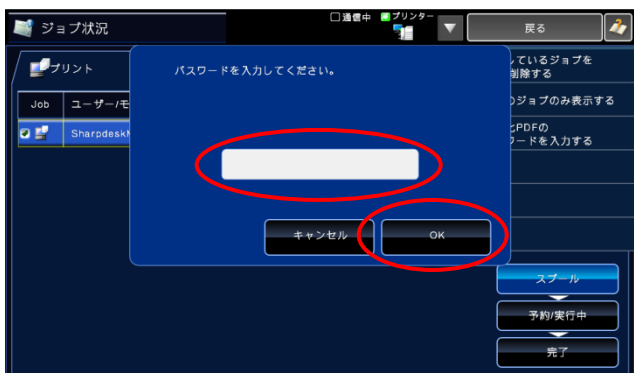
- ③ 「プリント」タブを選択し、「スプール」をタップします。



- ④ 本アプリケーションから送信した暗号化 PDF の印刷ジョブが表示されますので、それをタップして選択し、アクションパネルから、「暗号化 PDF のパスワードを入力する」をタップします。



- ⑤ 「パスワードを入力してください。」ダイアログにパスワードを入力し、「OK」をタップすると、印刷が始まります。

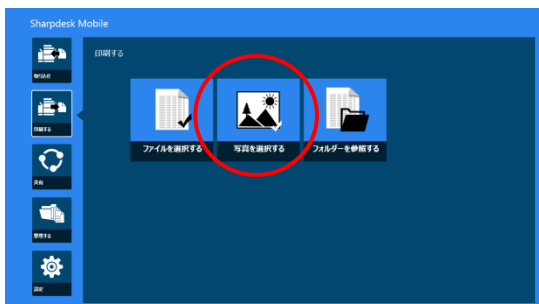


9.2 写真を印刷する

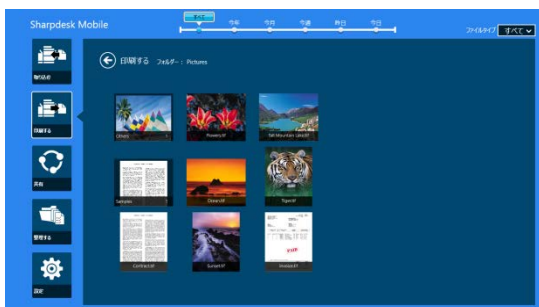
お使いの端末の、「ピクチャ」フォルダーに保存された写真を印刷します。

印刷可能なファイル形式は JPEG、TIFF、PNG です。

- ① 「写真を選択する」をタップします。



- ② 保存されている写真が一覧表示されます。印刷したい写真をタップすることにより、写真が表示されます。



(注) 端末の空きメモリーが少ない場合は写真が表示されません。

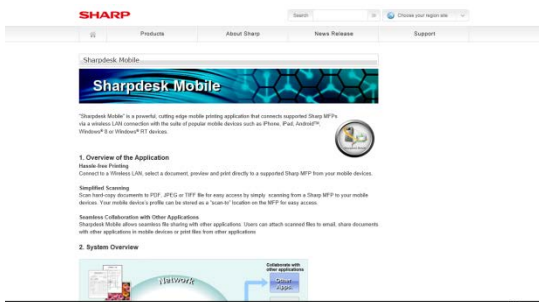
- ③ 以降の手順は、9.1 節のステップ④以降と同様です。

9.3 Web ページを印刷する

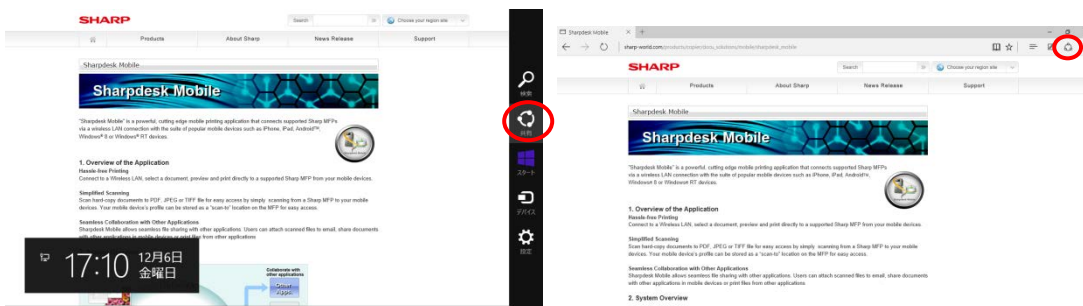
Internet Explorer(Windows 10 では Microsoft Edge)で表示した Web ページを印刷します。

(注) タッチ用に最適化された Internet Explorer(スタート画面の[Internet Explorer]のタイルをクリック、またはタップすると起動)、または Microsoft Edge([Microsoft Edge]のタイルをクリック、またはタップすると起動)をお使いの場合のみ、本アプリケーションでの印刷が可能です。デスクトップ画面から起動した Internet Explorer で閲覧した場合は印刷できません。

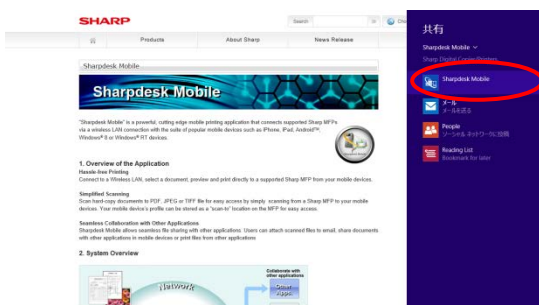
- ① Internet Explorer、または Microsoft Edge に閲覧したい Web ページの URL(アドレス)を入力します。



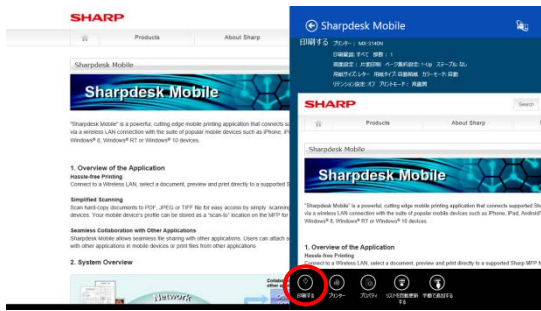
- ② Internet Explorer の場合は、画面の右端をスワイプしてチャームを表示させ、「共有」をタップします。Microsoft Edge の場合は、アドレスバー右端の「共有」アイコンをタップします。



- ③ このデータを受け取れるアプリケーションが共有チャームに表示されますので、「Sharpdesk Mobile」をタップします。



- ④ 共有チャームに本アプリケーションが表示されますので、アプリバーの「印刷する」をタップします。



- ⑤ 以降の手順は 9.1 節のステップ④以降をご覧ください。
(注) 複数の Web ページを印刷することはできません。

9.4 メールを印刷する

標準で搭載されているメール アプリで閲覧したメールを印刷します。

- (注) メールを閲覧するには、インターネットに接続されている必要があります。
(注) 本アプリケーションでは、メールは送信できません。
(注) 本機能は、Windows 10 ではご使用になれません。

- ① メール アプリ(スタート画面の[メール]のタイルをクリック、またはタップすると表示されます)でメールを閲覧します。



- ② 印刷したい内容をタッチ操作(もしくはマウス操作)で選択します。



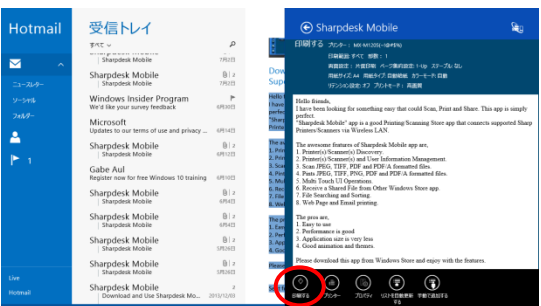
- ③ 画面の右端をスワイプしてチャームを表示させ、「共有」をタップします。



- ④ このデータを受け取れるアプリケーションが共有チャームに表示されますので、「Sharpdesk Mobile」をタップします。



- ⑤ 共有チャームに本アプリケーションが表示されますので、アプリバーの「印刷する」をタップします。



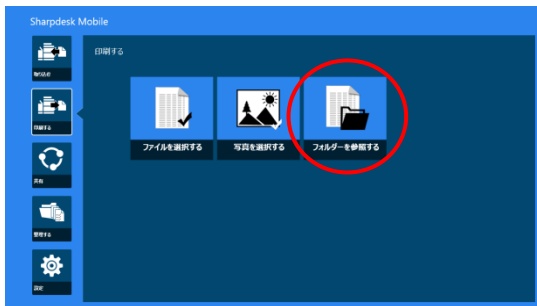
- ⑥ 以降の手順は 9.1 節のステップ④以降をご覧ください。
(注) 複数のメールを印刷することはできません。

9.5 その他のフォルダーのデータを印刷する

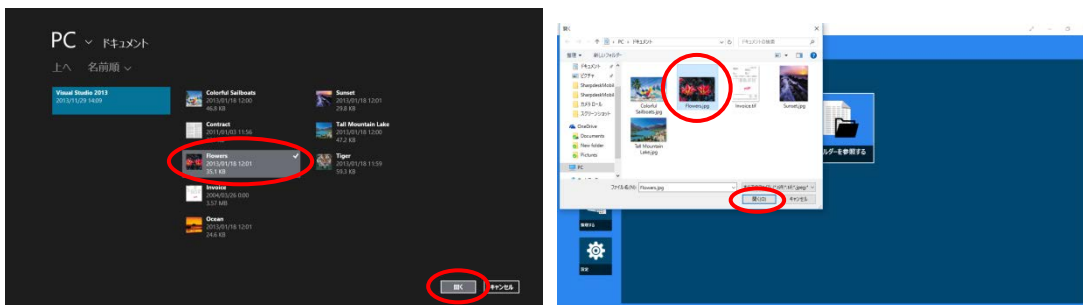
お使いの端末に保存された、本アプリケーションが管理する領域以外にあるデータを印刷します。

印刷可能なファイル形式は、JPEG、TIFF、PNG、PDF(高圧縮 PDF、および暗号化 PDF を含む)、および OOXML ファイル(DOCX、XLSX、PPTX)です。

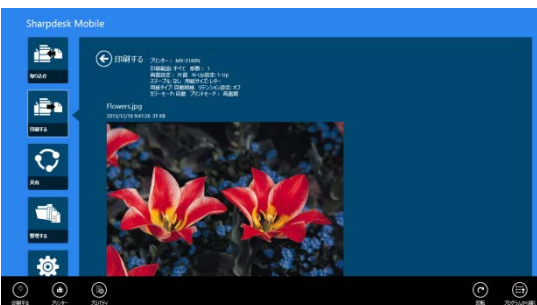
- ① 「フォルダーを参照する」をタップします。



- ② 標準のファイル選択ダイアログが表示されます。初期値として、「ドキュメント」フォルダー内のファイル/フォルダーの一覧が表示されます。お使いの端末内のアクセス可能な全てのフォルダーが閲覧できますが、本アプリケーションでサポートされているファイルフォーマットを持つファイルのみが表示されます。印刷したいファイルをタップし、「開く」をタップします。



- ③ 本アプリケーションに画面が戻り、選択したファイルのプレビュー画面と印刷設定が表示されます。プレビュー画像の操作については 12.3 節をご参照ください。



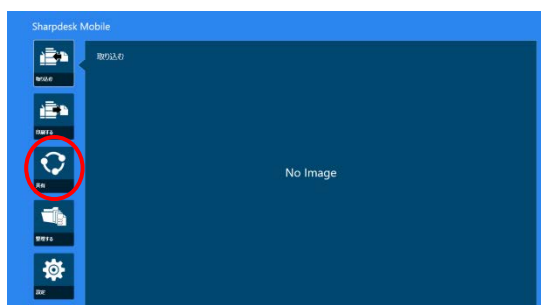
- ④ 以降の手順は 9.1 節のステップ④以降をご覧ください。

10 メールに添付する

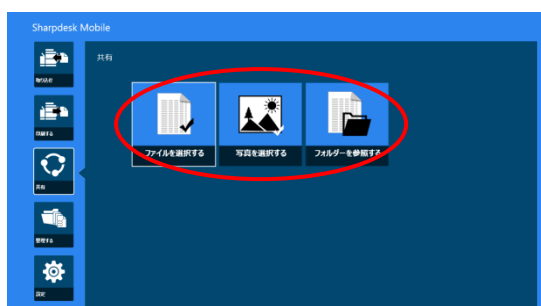
本アプリケーションに保存されているデータをメールに添付します。

(注) あらかじめメールアプリケーションを設定しておく必要があります。

- ① TOP メニュー画面から「共有」をタップします。

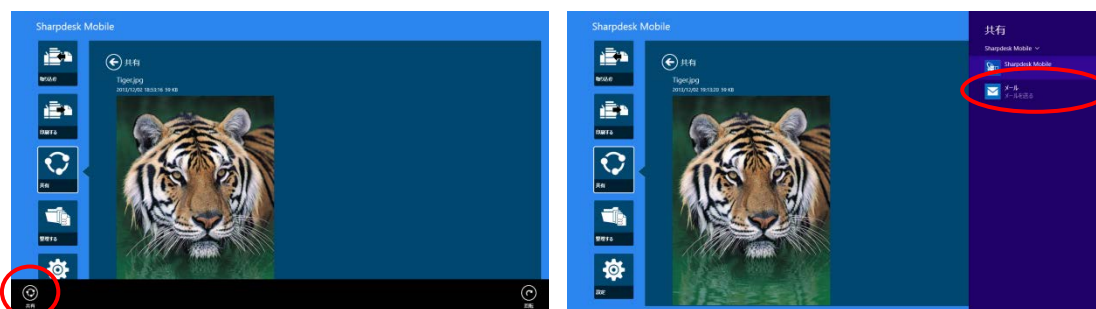


- ② SharpdeskMobile フォルダーに保存されているファイルを選択する場合は「ファイルを選択する」を、「ピクチャ」フォルダーに保存されている写真を選択する場合は「写真を選択する」を、その他のフォルダー(初期値は「ドキュメント」)に保存されているファイルを選択する場合は「フォルダーを参照する」をタップします。



ファイルやフォルダーの一覧の操作方法は 12.1 節を、検索方法は 12.2 節をご参照ください。
タップしたファイルのプレビューが表示されます。プレビュー画像の操作については 12.3 節をご参照ください。

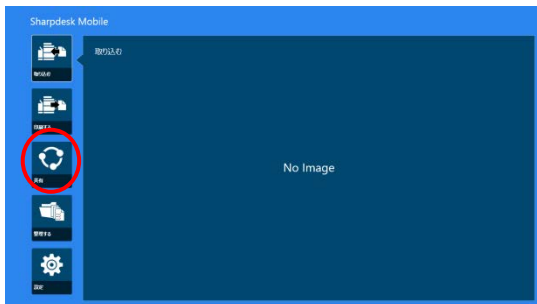
- ③ アプリバーの「共有」をタップすると、このファイルを送ることができるすべてのアプリケーションが画面右側に表示されます。使用したいメールアプリケーションをタップすると、そのメールアプリケーションが起動し、ファイルが添付された状態のメールが表示されますので、メールを適宜編集し、送信します。



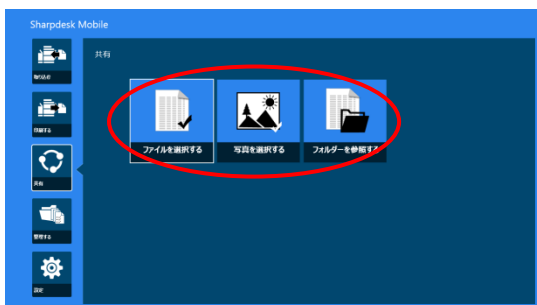
11 アプリケーションに送る

本アプリケーションに保存されているデータを他のアプリケーションに送ります。

- ① TOP メニュー画面から「共有」をタップします。

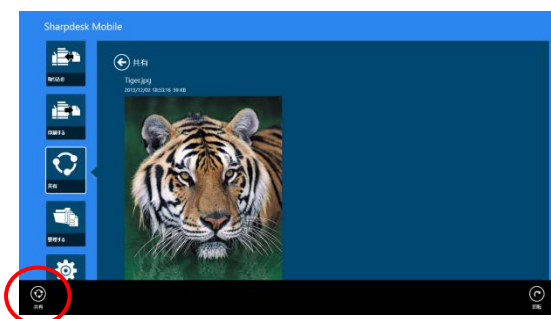


- ② SharpdeskMobile フォルダーに保存されているファイルを選択する場合は「ファイルを選択する」を、「ピクチャ」フォルダーに保存されている写真を選択する場合は「写真を選択する」を、その他のフォルダー(初期値は「ドキュメント」)に保存されているファイルを選択する場合は「フォルダーを参照する」をタップします。

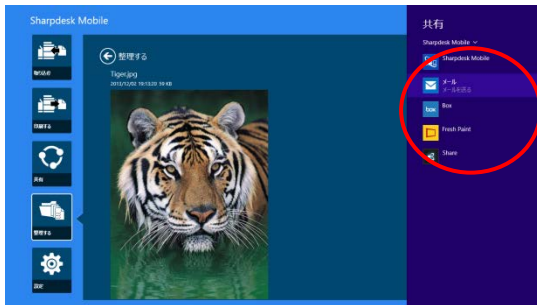


ファイルやフォルダの一覧の操作方法は 12.1 節を、検索方法は 12.2 節をご参照ください。
タップしたファイルのプレビューが表示されます。プレビュー画像の操作については 12.3 節をご参照ください。

- ③ アプリバーの「共有」をタップします。



- ④ このファイルを送ることができるすべてのアプリケーションが表示されます。
このファイルを送りたいアプリケーションをタップするとそのアプリケーションが起動します。

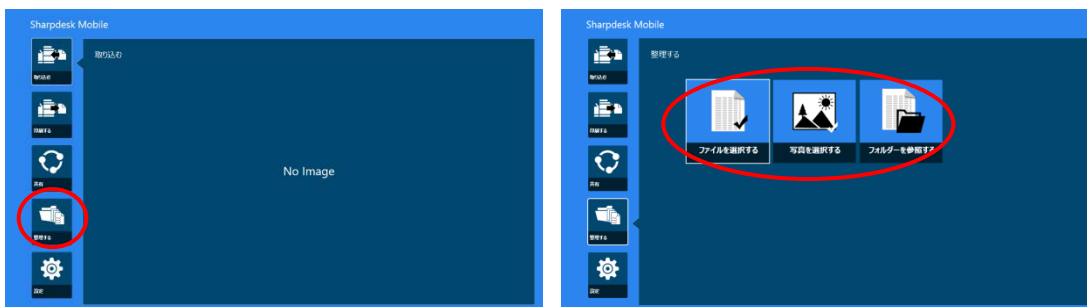


12 ファイルを管理する

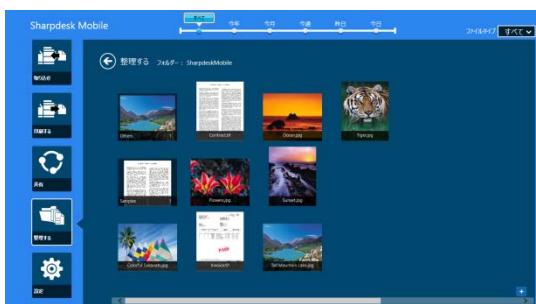
本アプリケーションに保存されているファイルや保存フォルダーを管理(ファイルやフォルダーの一覧、ファイルやフォルダーの検索、ファイルのプレビュー、名前の変更、移動、削除、フォルダーの作成)することができます。

ファイルや保存フォルダーを管理するには、TOP メニュー画面から「整理する」をタップします。

SharpdeskMobile フォルダーに保存されているファイルをプレビューする場合は「ファイルを選択する」を、「ピクチャ」フォルダーに保存されている写真をプレビューする場合は「写真を選択する」を、その他のフォルダー(初期値は「ドキュメント」)に保存されているファイルをプレビューする場合は「フォルダーを参照する」をタップします。



保存されているファイルや保存フォルダーが一覧表示されます。



12.1 ファイル/フォルダーの一覧を操作する

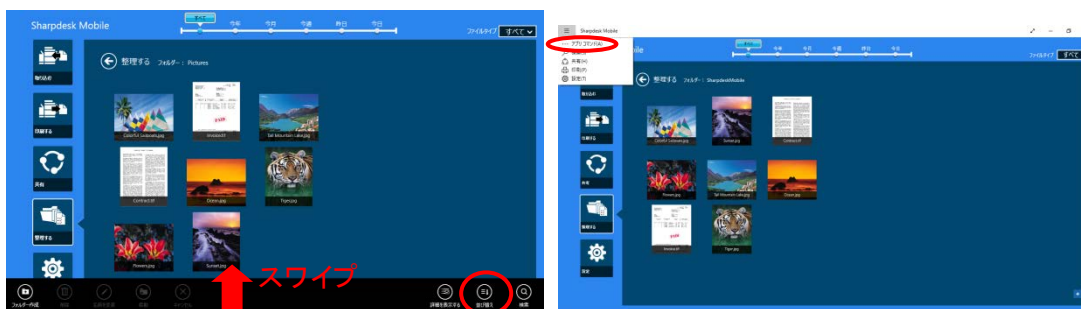
ファイルやフォルダーを検索したり、ファイルの表示を並び替えたり、表示方法を切り替えたりすることができます。

(注) ファイルやフォルダーの検索については次節をご参照ください。

(注) ファイルやフォルダーの保存領域の切り替えはできません。

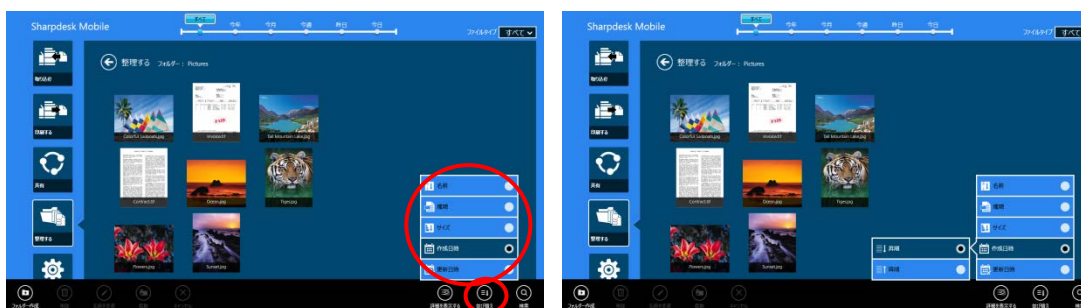
ファイルの表示を並び替えるには、画面下部を上へスワイプする(もしくはマウスを右クリックする)ことによりアプリバーを表示させ、「並び替え」ボタンをタップします。

Windows 10 ではタイトルバーの左上のアイコンをタップし、表示したメニューから「アプリ コマンド」をタップしても表示できます。



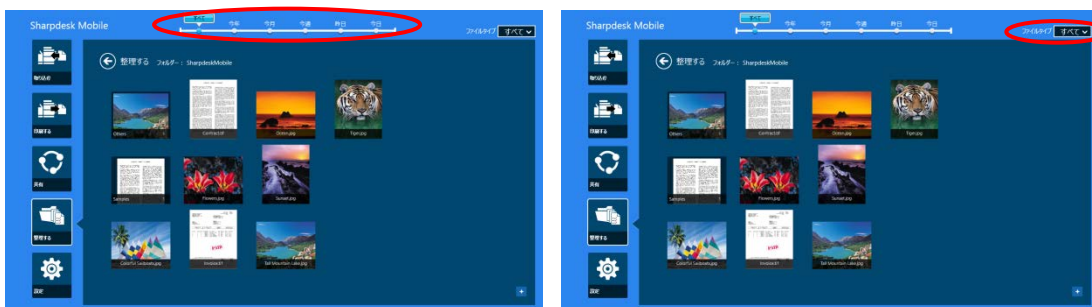
基準はタイムスタンプ(作成日時、更新日時)、ファイル名、ファイルサイズ、ファイルの種類の内いずれかが指定でき、並び順は昇順、降順が指定できます。

(注) ファイルの種類は、画面右上のファイルの種類で「すべて」が選択されている場合のみ選択できます。



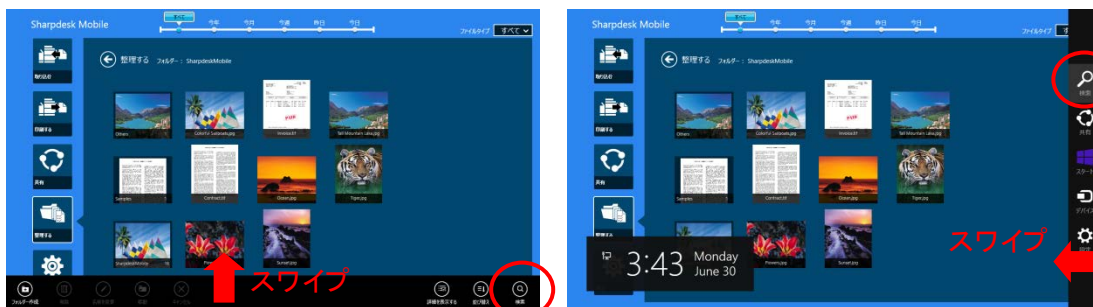
ファイルやフォルダーの表示の絞り込みは、以下の2つの方法で行うことができます。

- 画面上部のタイムラインをタップすると、ファイルやフォルダーの作成日時によって表示を絞り込むことができます。
「標準ビュー」と「ツリービュー」:「すべて」「今年」「今月」「今週」「昨日」「今日」が選択できます。(初期設定は「今日」)
「カレンダービュー」と「サークルビュー」:「年」「月」「週」「日」が選択できます。(初期設定は「日」)
- 画面上部右のファイルタイプをタップすると、ファイルフォーマットによって表示を絞り込むことができます。
「PDF」「JPEG」「TIFF」「PNG」「DOCX」「XLSX」「PPTX」「すべて」が選択できます。

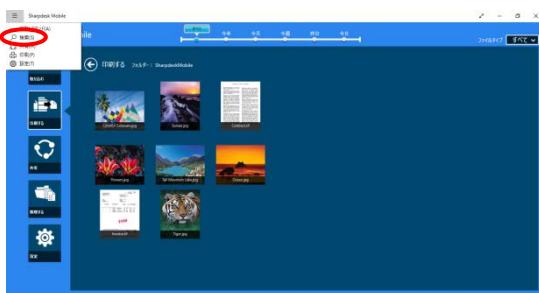


12.2 ファイル/フォルダーを検索する

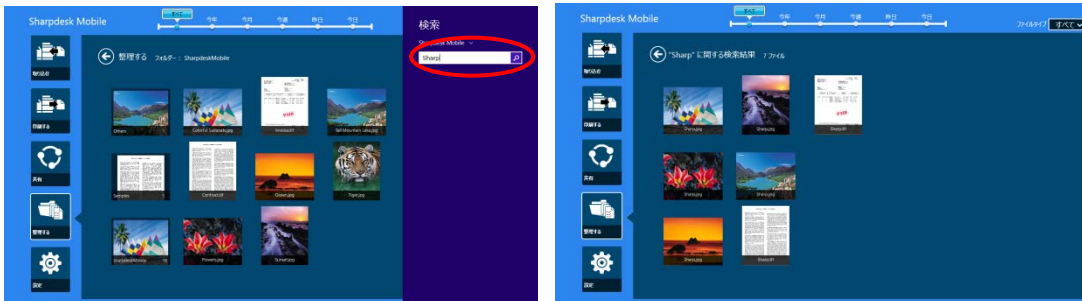
画面下部を上へスワイプする(もしくはマウスを右クリックすることによりアプリバーを表示させ、「検索」ボタンをタップします。(Windows 10ではタイトルバーの左上のアイコンをタップし、表示したメニューから「アプリ コマンド」をタップしても表示できます。) または、画面右端を左へスワイプすることによりチャームを表示させ、「検索」ボタンをタップします。



Windows 10では、タイトルバーの左上をタップしてメニューを表示し、「検索」をタップします。

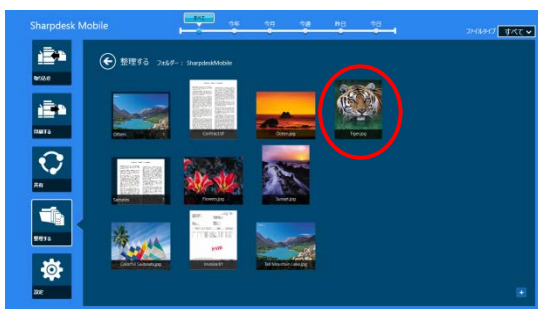


検索チャームが表示されますので、検索したいファイルの名前(部分でも可)を入力すると、右下の図のように入力した名前を含むすべてのファイルが現在表示されているフォルダーとサブフォルダーからの検索結果として一覧表示されます。検索結果についても、更新日時やファイルフォーマットで表示を絞り込むことができます。



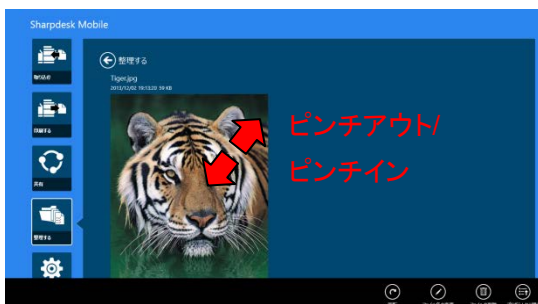
12.3 ファイルをプレビューする

ファイルやフォルダーの一覧から、ファイルをタップすることにより、プレビューを表示することができます。

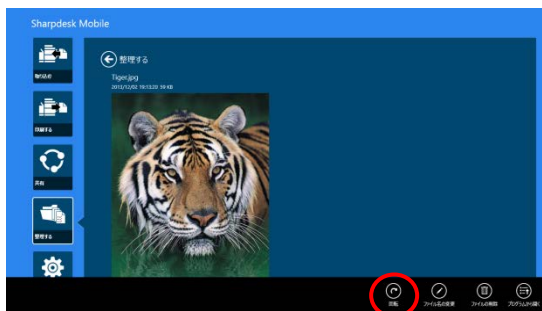


(注) 端末の空きメモリーが少ない場合はプレビューが表示されません。

プレビュー画像を 2 本の指で触れながら、指の間隔を広げる/狭めると画像が拡大/縮小します。(ピンチアウト/ピンチイン)

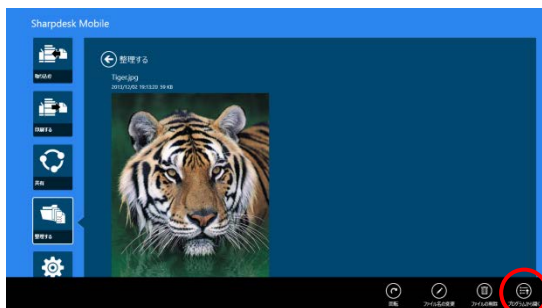


「回転」ボタンをタップすると、90度単位で時計回りにプレビュー画像を回転することができます。



(注) 回転した状態で他の操作を行っても、保存された画像の向きは変わりません。

「プログラムから開く」をタップすると、このファイルを表示できるアプリケーションが一覧表示され、選択したアプリケーションでプレビューすることができます。

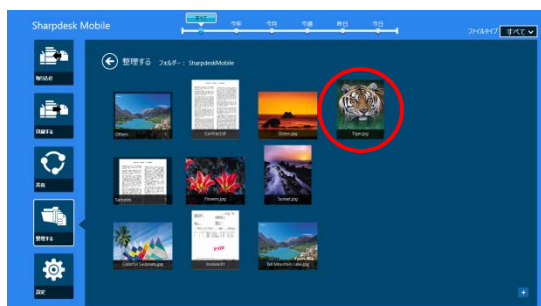


12.4 ファイル/フォルダーの名前を変更する

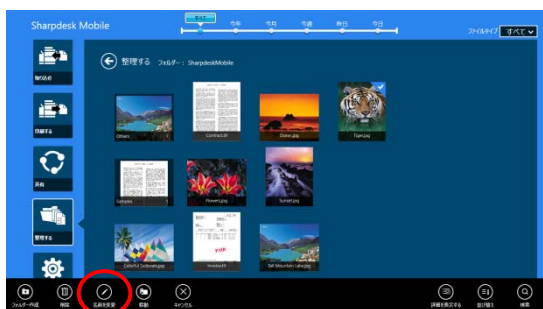
(注) 一度の操作で名前の変更が可能なファイル/フォルダーは1つのみです。一度に複数のファイル/フォルダーの名前を変更することはできません。

① 名前を変更したいファイル/フォルダーを上下にスワイプして選択します。

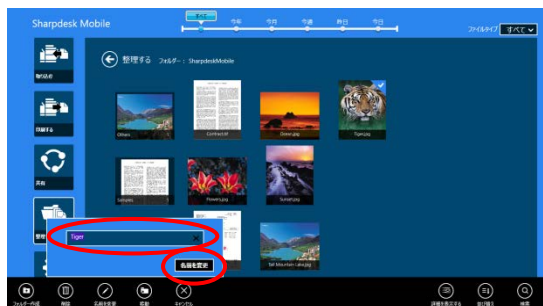
(注) 「フォルダーを参照する」でファイル/フォルダーの一覧を表示している場合は、ファイルをタップして「開く」をタップします。



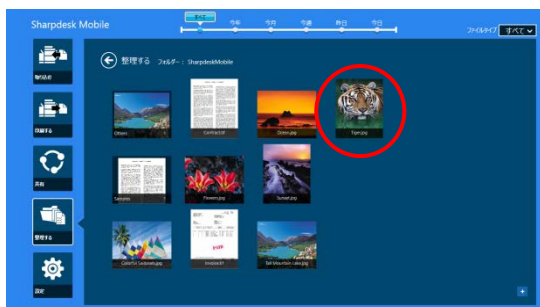
- ② アプリバーから「名前を変更」(「フォルダーを参照する」からファイルを開いた場合は「ファイル名の変更」)をタップします。



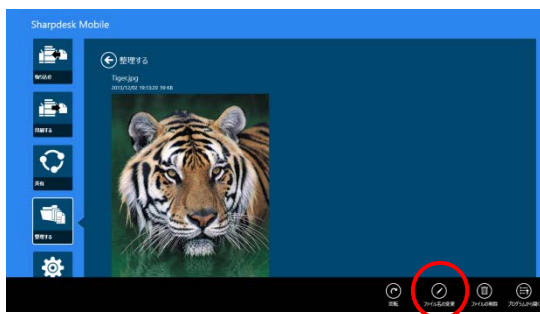
- ③ ファイル名(フォルダー名)を変更するためのダイアログが表示されますので、新しい名前を入力し、「名前を変更」をタップします。



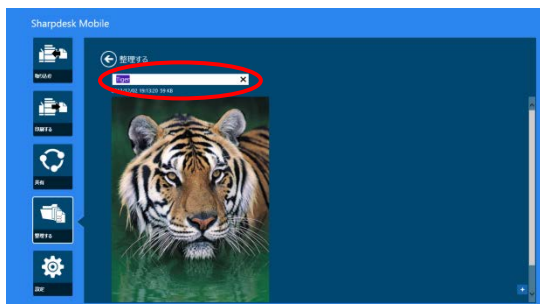
以下の方法でもファイル名を変更することができます。
ステップ①において、名前を変更したいファイルをタップします。



そのファイルのプレビューが表示されますので、アプリバーの「ファイル名の変更」をタップします。



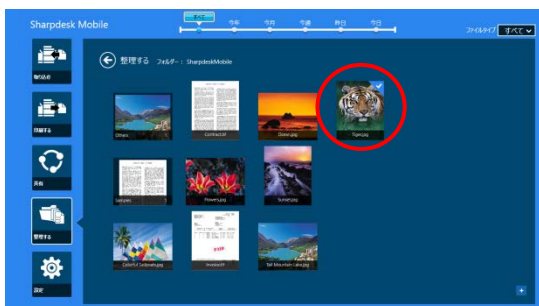
プレビュー画面の上部のファイル名表示がテキストボックスになりますので、変更したいファイル名を入力します。



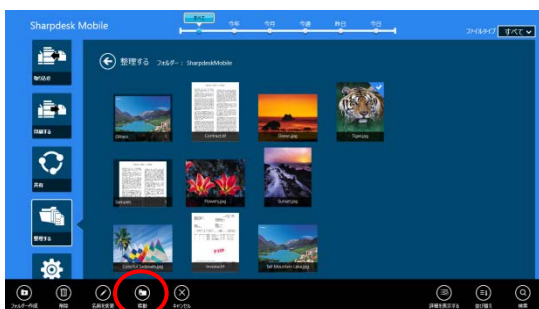
(注) ファイルの拡張子は変更できません。

12.5 ファイル/フォルダーを移動する

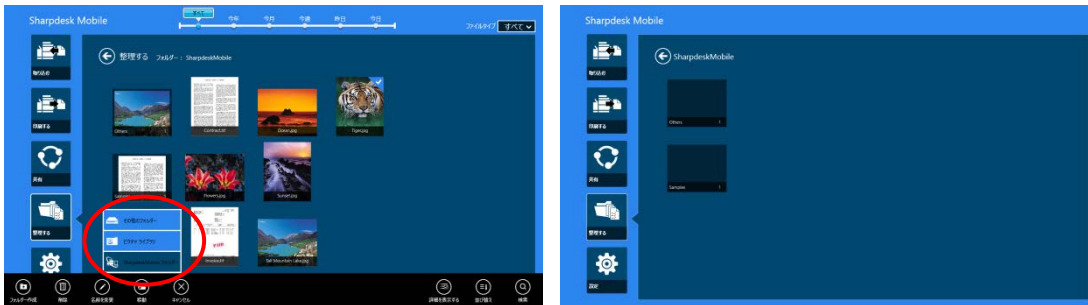
① 移動したいファイル/フォルダーをスワイプして選択します(複数のファイル/フォルダーが選択可能です)。



② アプリバーの「移動」をタップします。

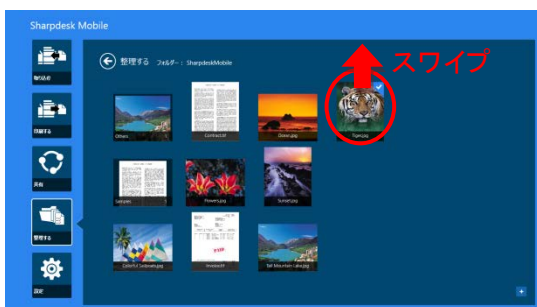


- ③ 移動先(「その他のフォルダー」「ピクチャ ライブラリ」「SharpdeskMobile フォルダー」)を選択します。「SharpdeskMobile フォルダー」を選択した場合、SharpdeskMobile フォルダーが表示されます。「ピクチャ ライブラリ」を選択した場合、ピクチャ ライブラリが表示されます。「その他のフォルダー」を選択した場合、標準のファイル選択ダイアログにマイドキュメントが表示されます。選択したファイル/フォルダーを移動させたいフォルダーを開き、「ここに移動」をタップします。

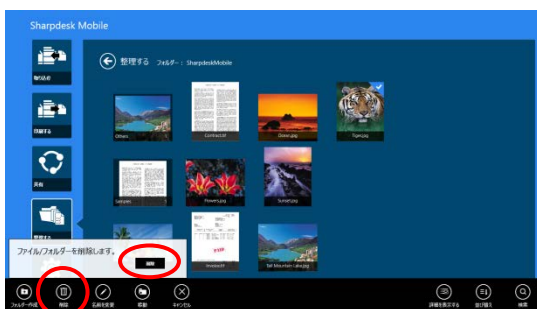


12.6 ファイル/フォルダーを削除する

- ① 削除したいファイル/フォルダーをスワイプして選択します(複数のファイル/フォルダーが選択可能です)。

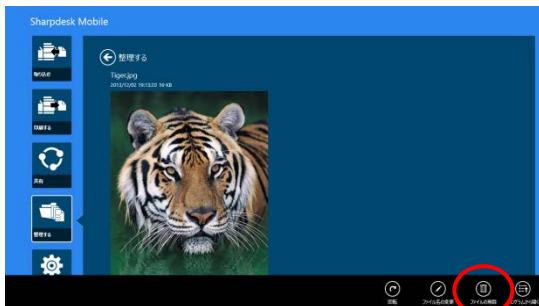


- ② アプリバーの「削除」(「フォルダーを参照する」からファイルを開いた場合は「ファイルの削除」)をタップします。「ファイル/フォルダーを削除します。」ダイアログが表示されますので、「削除」をタップすると、ファイル/フォルダーが削除されます。



以下の方法でもファイルを削除することができます。

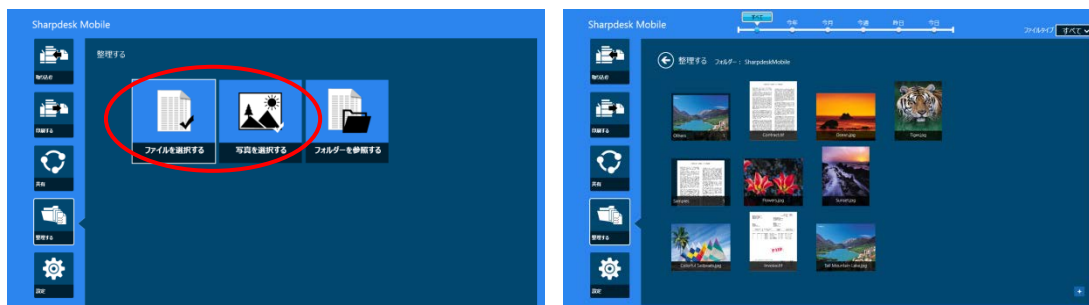
「ファイルをプレビューする」(12.3 節参照)の操作を行った状態で、「ファイルの削除」ボタンをタップします。その後「ファイルを削除します。」ダイアログが表示されますので、「削除」をタップすると、ファイルが削除されます。



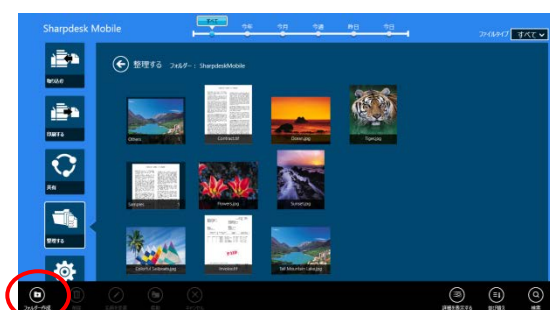
12.7 フォルダを作成する

- ① SharpdeskMobile フォルダ内にフォルダを作成する場合は「ファイルを選択する」を、「ピクチャ」フォルダ内にフォルダを作成する場合は「写真を選択する」をタップし、フォルダを作成したい場所まで移動します。

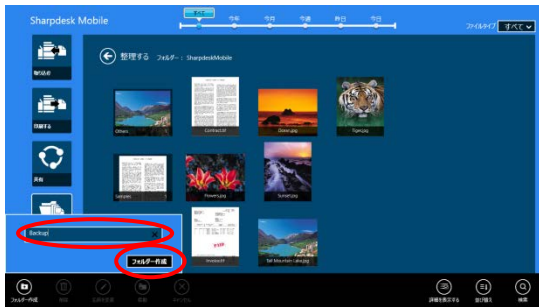
(注)Windows 8.1で「フォルダを参照する」を選択した場合はフォルダを作成できません。Windows 10で「フォルダを参照する」を選択した場合は標準のファイル選択ダイアログが表示され、フォルダを作成することができます。



- ② アプリバーの「フォルダ作成」をタップします。



- ③ ダイアログが表示されますのでフォルダ名を入力し、「フォルダ作成」をタップすると、入力したフォルダ一名でフォルダが作成されます。



13 他のアプリケーションから印刷する

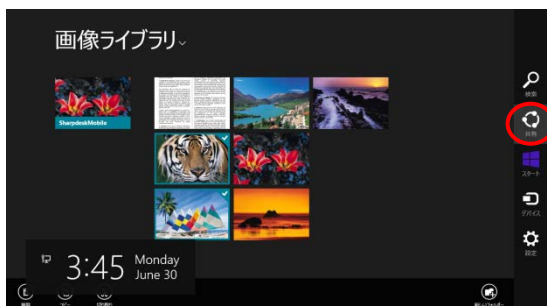
お使いの端末の他のアプリケーションから、本アプリケーションにデータを送ることにより印刷することができます。

- ① 他のアプリケーションにおいて、印刷したいデータ(JPEG、TIFF、PNG、PDF、DOCX、XLSX、またはPPTX ファイル)を開きます。

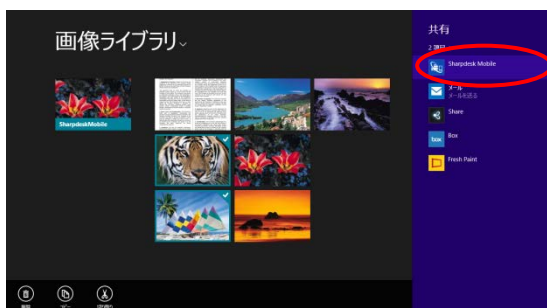
- ② 他のアプリケーションに送る操作を行います。

例: Windows 8.1 の「画像ライブラリ」から写真を送る操作

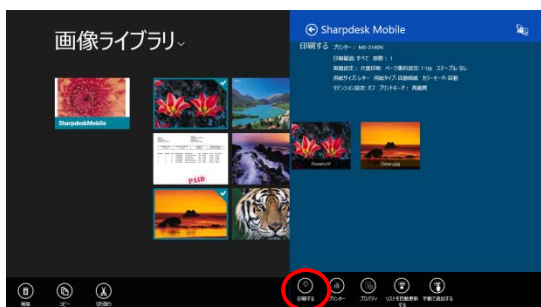
写真が表示されている状態で画面右端をスワイプして表示されるチャームから「共有」をタップします。



- ③ このデータを受け取れるアプリケーションが共有チャームに表示されますので、「Sharpdesk Mobile」をタップします。



- ④ 共有チャームに本アプリケーションが表示されますので、アプリバーの「印刷する」をタップします。



- ⑤ 以降は、「9.1 本アプリケーションに保存されているデータを印刷する場合」のステップ④以降と同様の操作で印刷できます。

Microsoft、Windows および Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

WN0220JA-001